

5月26日(火)

愛にとどまる

聖書朗読 ローマ人への手紙 8:28~30

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。 ローマ 8:28

私のこれまでの歩みは変化で溢れていました。南カリフォルニアで結婚し、モンタナに引っ越し、その後オレゴン、ワシントン、ジョージア、そしてホンジュラスに移住しました。新しい場所に引っ越すたびに新しい環境、交友関係、仕事、学校、そして教会に慣れる必要がありました。私たちの子どもたちが成長した今振り返ると、彼らはこの経験を通して貴重なスキルを身につけられたと思います。どこにいても、彼らは変わらない愛情を私たちと教会から受けました。

使徒パウロはローマ人への手紙で、神が常に彼とともにいてくださったと書いています。それは、豊かなときも貧しいときも、健康なときも投獄されているときもです。生きている中では時に神様との距離を感じる場合があります。しかし、そんな時こそ私たちは神様を必要としているのです。

もし、あなたが今神様を近くに感じられないのであれば、神様には理解できない痛みや経験はないことを覚えてください。裏切り、批判、不当な扱い、死や喪失、全てを神様は理解して下さいます。パウロは、神様は私たちの現在の状況をはるかに越える大きなご計画を持っておられると書いています。それは私たちが神様によって御子イエス様のようになることです。

神は愛です。神様はどんなに難しい状況にあっても私たちと共に歩むと約束してくださっています。神様に近づきましょう、神様が必ず慰めてくださいます。

讚美歌 243 ああ主のひとみ

祈り 愛する神様、私たちの心、魂、人生にいてくださりありがとうございます。困難な時、あなたの御許に私を引き寄せてください。あなたが全てのことを益としてくださることを知り、平安を感じることが出来ますように。イエス様の血潮によって御前にあります。アーメン。

サウス・カロライナ州 コロンビア / マーク A・ヤング

5月27日(水)

増える希望

聖書朗読 ローマ人への手紙 15:1~6

どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。 ローマ 15:13

陸上のリレー競技を観たことはありますか。バトンが次の走者に渡されるごとにチームの力はゴールテープを切るまで増していきます。希望も同じです。希望は独り占めするものではなく、渡され、共有され、倍増していくものなのです。

パウロは溢れる希望を描きました。コミュニティを造り出し、励まし合う仲間ができ、互いに信仰を強め合う希望です。人が個人の成果によって判断される文化では、希望が人から人へ広がっていくものであることを忘れがちです。もし一人の信者が忍耐し、教会に集い続け、神様の約束を信じるなら、その希望は周りの人に広がります。時に、あなたの揺るがない神様に対する信頼が他の人が必要としている支えになるのです。

希望は受け身ではなく、積極的です。人を励まし、弱い者とともに耐え、一致のために祈ることによって生み出されます。私たちがともに希望をもって行動する時、それは耐えるだけでなく、さらなる力となるのです。

希望をあなたのもものとして留めるのではなく、次の人に渡しましょう。きっとあなたの希望を必要としている人がいるはずです。

聖歌 232 つみとがをゆるされ

祈り 希望の主よ、あなたの平安と喜びによって私を満たし、私の全ての会話、行動、関係から、あなたにある希望を溢れさせてください。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

アリゾナ州 フェニックス / ジョセリン・ブラウン

5月28日(木)

大切なことを知ること

聖書朗読 コリント人への手紙第一 15:1~11

この方であって私たちは、その血による贖い、罪の赦しを受けています。これは神の豊かな恵みによることです。この恵みを、神は私たちの上にあふれさせ、あらゆる知恵と思慮深さをもって、
エペソ 1:7~8

人にとって何が一番重要なのか知るためには、その人が何に時間、お金、エネルギーをかけるかを見ます。娯楽や旅行、趣味で予定が埋まっていますか。時に私たちは予定の優先順位を考え直す必要があります。もし私たちが本当に神様の価値観に立ち、神様を喜ばせるために生きたいと思うのであれば、私たちが何を一番重要と考えるかを吟味する必要があります。

パウロはコリントの教会に何が最も大切であるかをはっきりと伝えています。『私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、』(Iコリント 15:3)この真実こそ全てを変えるのです。

なんと素晴らしく、また身が引き締まる事実でしょうか。神様はひとり子イエス様を、優先順位を間違えた私たちを贖い、汚れた私たちの心を清めるために送ってくださったのです。パウロはコリントの人々が価値観を改め、正しい選択をし、救われたものとして希望をもって生きることを願ったのです。

私たちも、贖われたものとして、罪に支配されることなく歩むよう招かれています。私たちがそうする時に、キリストの犠牲の威厳と完全さによって、日々の歩みが変わられるのです。

讃美歌 546 聖なるかな

祈り 聖なる、慈愛に満ちた父よ。どうか私たちがあなたの道を選び、この世の愚かさから逃れる事ができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

テキサス州 ハイランドビレッジ / ラリー・ケイン

5月29日(金)

永遠に若く

聖書朗読 コリント人への手紙第二 4:7~18

ですから、私たちは勇気を失いません。たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。
IIコリント 4:16

鏡に映った自分を見て、もう若くないんだわと思ったことはありませんか。私たちの体は時とともに変化していきます。痛み、怪我、ストレスや恐れなども現れます。いったん成長が止まると、その後は衰えていくばかりです。老化は避けられないのです。

しかし、パウロは私たちに、体が弱くなる時にも強くなることができると言っています。パウロは『私たちは、この宝を、土の器に入れているのです。』(IIコリント 4:7)と述べています。私たちは脆く弱くとも、私たちの内には全てに勝る神の力が宿っているのです。私たちの外見は衰えても、私たちの霊は日々新たにされるのです。

ペテロはイザヤ書を引用して言いました。『人はみな草のようで、その栄えは、みな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。しかし、主のことばは、とこしえに変わることがない。』(Iペテロ 1:24~25)神様のみことばは永遠に朽ちることのない錨なのです。

この真実が私たちの心を整え、喪失や絶望、苦難においても支えます。主のみことばは、私にずっと前を向き、人を愛し、信じるための力を与えます。

ですから、鏡が衰えていく私たちを見せても、神様のみことばは私たちに、キリストによって私たちは日々新たにされ、永遠に若くあることを教えてください。

讃美歌 267 神はわがやぐら

祈り 主よ、聖なるみことばを感謝します。あなたのみことばを心にとめ、日々新たにされますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

テキサス州 ヘロテス / マーシャD・ダウエル

5月30日(土)

はいと言える喜び

聖書朗読 ガラテヤ人への手紙 6:2~10

互いに重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。

ガラテヤ 6:2

奉仕の機会が与えられた時、ときに手を挙げて機会を受けるよりも、他の人が手を挙げるのを待ちたくなることがあります。しかし、「はい」と名乗った人に与えられる特別な喜びがあるのです。一つ一つの「はい」がイエス様を映しているのです。イエス様こそ私たちのために十字架にお架かりになることに「はい」と従われた方だからです。

パウロはガラテヤ6章で、私たちが重荷を負い合う時、キリストの律法を全うしているのだと示しています。私たちは一人で重荷を負うものではありません。神様は教会を1つの家族として建てられ、一人一人に役割を与えられました。そして、どんなに些細な働きも全て知っておられるのです。神様は『失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることとなります』(9節)と約束してくださいました。

すべての親切な行動、小さな祈り、差し出された手が神様が用意されている収穫につながっているのです。

ですから、「はい」と言い続けましょう。罪悪感からではなく、一つ一つの行動が神様の時にあっていつか実を結ぶ種を蒔いているのだと信じて心から行いましょう。そして、周りの人とともに仕える喜びを分かち合いましょう。

讃美歌 391 ナルドの壺ならねど

祈り 愛なる神様、あなたの御国のために働く特権を与えてくださってありがとうございます。私たちが喜びを持って「はい」と言い、共にお仕えするよう周りの人を励まし、あなたを信じて刈り取りの時を待ち望むことができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

コロラド州 デンバー / アナ・ポーター

5月31日(日)

感謝の態度

聖書朗読 コロサイ人への手紙 1:1~11

すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

I テサロニケ 5:18

先日、ある記事に感謝の気持ちと不安を同時に抱くことはできないと書かれていました。感謝の気持ちは脳内に喜びや有難いという感覚をもたらす物質を出すと考えられる科学者たちもいます。その状況では不安にはなりにくいのです。確かに与えられた恵みを数える時、不安が安らぐ気がします。

ですから、私は困難なことに執着するのではなく、どのように神様が私を支えてくださったかに注目することにしました。毎朝歩くときに神様に与えられた恵みに感謝します。神様は私に、妻、子ども、孫、友人、仕事、教会の兄弟姉妹、そして奉仕の機会を与えてくださいました。感謝することによって私の視点は変えられ、悩み事も小さなことに感じられるのです。

感謝の心は優先順位を整理し、心に平安を与えます。感謝とともに、私は神様に不安を打ち明け、心の底から「私を愛し祝福してくださいありがとうございます」と賛美します。感謝は不安を消し去り、信仰を強めるのです。

讃美歌 12 めぐみゆたけき主を

祈り 父よ、何か嬉しいことがあった時に感謝するのではなく、日々の選択として、私たちの考え、行動、信仰を感謝によって形作ることができますように。感謝の気持ちを通して、あなたにさらに近づき、周りの人を祝福することができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

サウス・カロライナ州 コロンビア / マーク A・ヤング